

ポータブル泡ノズル

取扱説明書

型 式

F N 2 0 0

F N 4 0 0

NDC 日本ドライケミカル株式会社

安全上のご注意

NDC 日本ドライケミカル株式会社

このたびは日本ドライケミカルの防災製品を設置していただき、まことに有難うございました。
この取扱説明書を、熟読のうえ安全に製品をお取り扱いください。

防災設備は日常使用するものではありませんが、緊急時には確実に機能を発揮しなければなりません。
そのためには「正しい取り扱い」と「日常の維持管理」が重要です。
又、防災設備は緊急時に火災を検知、消火するための機構上、誤った取り扱いをしますと「人的損害」、「物的損害」、「二次災害等」のおそれが想定されます。

従いまして、本設備は知識のない人の取り扱いは危険で、訓練した「**管理者の育成**」が必要です。
防災設備は日常使わないため管理がおろそかになる傾向にありますが、緊急時に確実に役立つよう管理者は「**正しい取り扱い**」を習得して「**日常管理**」を行ってください。

1. この取扱説明書は管理者を含め関係者がいつでも利用できるよう管理してください。
2. この取扱説明書の記載内容についての問い合わせは弊社担当部署までご連絡ください。
3. この防災製品に異常が発見された場合や改修等を企画される場合は、弊社担当部署までご連絡ください。
防災設備の工事は有資格者の消防設備士が行うよう法律で定められております。
4. この防災製品の保守・点検は製品内容を熟知している弊社にご用命ください。
5. この取扱説明書は保証書や契約書ではありません。

本文中に用いた表示記号は次のように区分しております。



危険

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、死亡又は重症を負う等の重大な人的被害のおそれが想定される事項を示しております。



警告

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、傷害等の人的被害のおそれや、設備不動作などの機能に致命的な悪影響を及ぼすおそれが想定される事項を示しております。



注意

この表示は防災設備を誤って取り扱った場合、本設備の機能障害、誤作動、二次災害等のおそれが想定される事項や、本設備の機能維持に必要な注意事項を示しております。

I 操作上の注意



危険

- 泡ノズルは改造しないでください。むやみに改造すると、使用中に泡ノズルが破損して消防用ホースが外れ、暴れることにより、操作者に危害を与えるおそれがあります。
- 泡ノズルと消防用ホースが差込式結合金具にて確実に接続されていることを確かめてから使用してください。消防用ホースが外れると、外れた消防用ホースが水圧にて暴れ、操作者や周囲の者が怪我をするおそれがあります。
- 泡ノズルの操作者は、泡放射開始直前から泡放射終了直後までの間、確実に泡ノズルを保持してください。泡ノズルの保持が不十分であったり、手放したりすると、放たれた泡ノズルが消防用ホースとともに水圧により暴れ、操作者や周囲の者が怪我をするおそれがあります。
- 泡ノズルは、決して人に向けて放射しないでください。水圧により転倒や怪我をするおそれがあります。



警告

- 延焼中の危険物に泡を直接放射しないでください。水圧により危険物が飛散し、火災を拡大させるおそれがあります。上から泡を降雪状に落下させるか、または直近の障害物に放射して、そこから流れ出た泡により燃焼中の危険物が覆われるように展開させてください。



注意

- 泡ノズルの操作は、当該泡ノズルが設置されている消火設備の取り扱い知識を熟知し、かつ十分に訓練された方が行ってください。不適切な操作は、消火活動を阻害し、所定の消火性能も発揮されません。
- 泡ノズルを使用する際は、泡ノズルの操作者や元バルブの操作者など適切に役割を分担し、必ず複数人にて行ってください。予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- 泡ノズルは、落したり、物にぶついたりするなどむやみに衝撃を与えないでください。破損の原因となります。
- 放射された泡や泡水溶液は全て回収し、産業廃棄物として処理してください。
- 泡消火薬剤が眼に入った場合は速やかに多量の水で洗い流してください。また、飲み込んでしまった場合は多量の水で胃を洗浄してください。なお、前記処置後においても気分が悪いなどの症状が改善されない場合は速やかに医師の診断を受けてください。

II 維持管理上の注意



注意

- 消防法で定められている定期点検（危険物施設にあっては1年1回以上）を必ず実施してください。
- 定期点検は、危険物取扱者等の有資格者が行ってください。
- 泡ノズルに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合や、泡放射性能に異常があった場合は、速やかに修理・交換を行ってください。
- 定期点検以外にも日常的に点検を行い、泡ノズルに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合は、速やかに修理・交換を行ってください。

III 仕様等



注意

- 本書に掲げる仕様以外の条件では使用しないでください。発泡性能を損なうおそれがあります。

目 次

1. 適 用	2 頁
2. 各部の名称	2 頁
3. 製品の概要	2 頁
4. 操作上の注意	2 頁
5. 維持管理上の注意	3 頁
6. 仕様等	4 頁
6.1 仕様	4 頁
6.2 流量特性	5 頁
6.3 泡放射特性	5 頁

1. 適用

本取扱説明書は、FN200型およびFN400型ポータブル泡ノズルの仕様・機能・取り扱い等に関する説明書です。本泡ノズルをご使用の際は、本取扱説明書の内容を十分に理解され、正しくお使いください。

2. 各部の名称

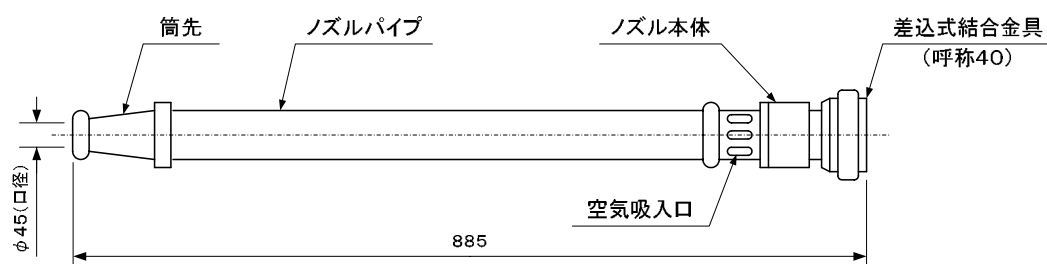


図1. FN200型ポータブル泡ノズル外観図



図2. FN400型ポータブル泡ノズル外観図

3. 製品の概要

FN200型およびFN400型ポータブル泡ノズル（以下「泡ノズル」という。）は、アスピレータ型発泡装置を備えた可搬式の泡ノズルです。危険物施設に設けられる泡消火設備のうち、屋外タンク貯蔵所の固定式泡消火設備に付属する補助泡消火栓や、一般取扱所または屋内貯蔵所の屋外泡消火栓および屋内泡消火栓の泡ノズルとして使用します。

4. 操作上の注意

⚠ 危険

- 泡ノズルは改造しないでください。むやみに改造すると、使用中に泡ノズルが破損して消防用ホースが外れ、暴れることにより、操作者に危害を与えるおそれがあります。
- 泡ノズルと消防用ホースが差込式結合金具にて確実に接続されていることを確かめてから使用してください。消防用ホースが外れると、外れた消防用ホースが水圧にて暴れ、操作者や周囲の者が怪我をするおそれがあります。
- 泡ノズルの操作者は、泡放射開始直前から泡放射終了直後までの間、確実に泡ノズルを保持してください。泡ノズルの保持が不十分であったり、手放したりすると、放たれた泡ノズルが消防用ホースとともに水圧により暴れ、操作者や周囲の者が怪我をするおそれがあります。
- 泡ノズルは、決して人に向けて放射しないでください。水圧により転倒や怪我をするおそれがあります。



警告

- 延焼中の危険物に泡を直接放射しないでください。水圧により危険物が飛散し、火災を拡大させるおそれがあります。上から泡を降雪状に落下させるか、または直近の障害物に放射して、そこから流れ出た泡により燃焼中の危険物が覆われるように展開させてください。



注意

- 泡ノズルの操作は、当該泡ノズルが設置されている消火設備の取り扱い知識を熟知し、かつ十分に訓練された方が行ってください。不適切な操作は、消火活動を阻害し、所定の消火性能も発揮されません。
- 泡ノズルを使用する際は、泡ノズルの操作者や元バルブの操作者など適切に役割を分担し、必ず複数人にて行ってください。予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- 泡ノズルは、落したり、物にぶついたりするなどむやみに衝撃を与えないでください。破損の原因となります。
- 放射された泡や泡水溶液は全て回収し、産業廃棄物として処理してください。
- 泡消火薬剤が眼に入った場合は速やかに多量の水で洗い流してください。また、飲み込んでしまった場合は多量の水で胃を洗浄してください。なお、前記処置後においても気分が悪いなどの症状が改善されない場合は速やかに医師の診断を受けてください。

5. 維持管理上の注意



注意

- 消防法で定められている定期点検（危険物施設にあっては1年1回以上）を必ず実施してください。
- 定期点検は、危険物取扱者等の有資格者が行ってください。
- 泡ノズルに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合や、泡放射性能に異常があった場合は、速やかに修理・交換を行ってください。
- 定期点検以外にも日常的に点検を行い、泡ノズルに有害なキズ、割れ、変形などの異常が目視確認された場合は、速やかに修理・交換を行ってください。

6. 仕様等

6.1 仕様



注 意

本書に掲げる仕様以外の条件では使用しないでください。発泡性能を損なうおそれがあります。

表1. 泡ノズル仕様一覧表

型 式 記 号	FN 2 0 0		FN 4 0 0	
標 準 放 射 圧 力	0.35 MPa			
標 準 放 射 量	200 L/min		400 L/min	
接 続 取 合	消防用差込式結合金具 呼称 40		消防用差込式結合金具 呼称 65	
質 量	1.9 kg		4.9 kg	
適 用 泡 消 火 薬 剤	【商品名】		【国家検定型式番号】	
	たん白耐寒 3 %		： 泡第 5 1 ～ 3 号	
	たん白耐寒 6 %		： 泡第 5 1 ～ 2 1 号	
	たん白超耐寒 3 %		： 泡第 5 2 ～ 1 号	
	フロロフォーム 3 %		： 泡第 5 2 ～ 5 号	
	フロロフォーム超耐寒 3 %		： 泡第 5 ～ 1 号	
	アルコエース 3－3		： 泡第 6 2 ～ 3 号	
	アルコエース 3－6		： 泡第 5 7 ～ 3 号	
	アルコエース 6－6		： 泡第 3 ～ 7 号	
	アルコエース X L		： 泡第 1 0 ～ 2 号	
	アルコエース X L－3		： 泡第 1 3 ～ 8 号	
	サーフウォーター 3 %		： 泡第 5 6 ～ 3 号	
	サーフウォーターⅡ 3 %		： 泡第 4 ～ 5 号	
	サーフウォーターⅢ 3 %		： 泡第 1 0 ～ 6 号	
	サーフウォーター超耐寒 3 %		： 泡第 6 ～ 6 号	
	合成界面活性剤普通 3 %		： 泡第 5 1 ～ 1 7 号	
合成海面活性剤耐寒 3 %		： 泡第 2 ～ 2 号		
発 泡 性 能	発 泡 倍 率	6 倍以上（水成膜泡消火薬剤の場合は 5 倍以上）		
	25%還元時間	1 分以上		

6.2 流量特性

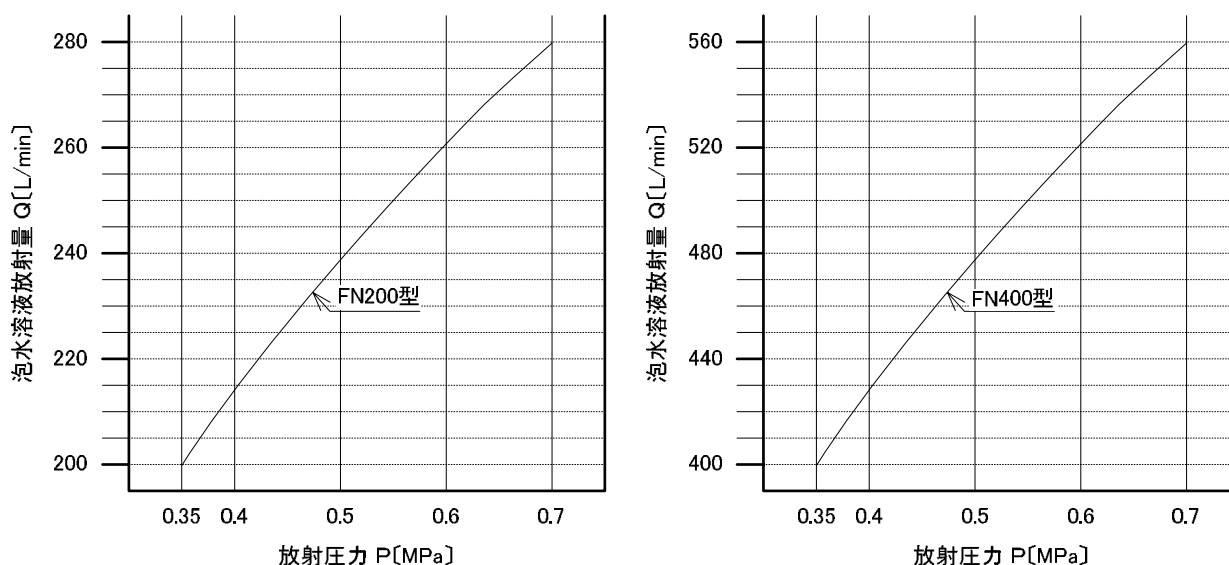


図3. FN200型およびFN400型ポータブル泡ノズル P-Q曲線図

6.3 泡放射特性

【泡放射条件】 放射角度： 仰角 約 25 度 （地盤面水平を基準に上向き約 25 度）
 風： 1.0m/s 以下 （横風・向かい風含む。）
 泡消火薬剤： 表1. に掲げる適用泡消火薬剤

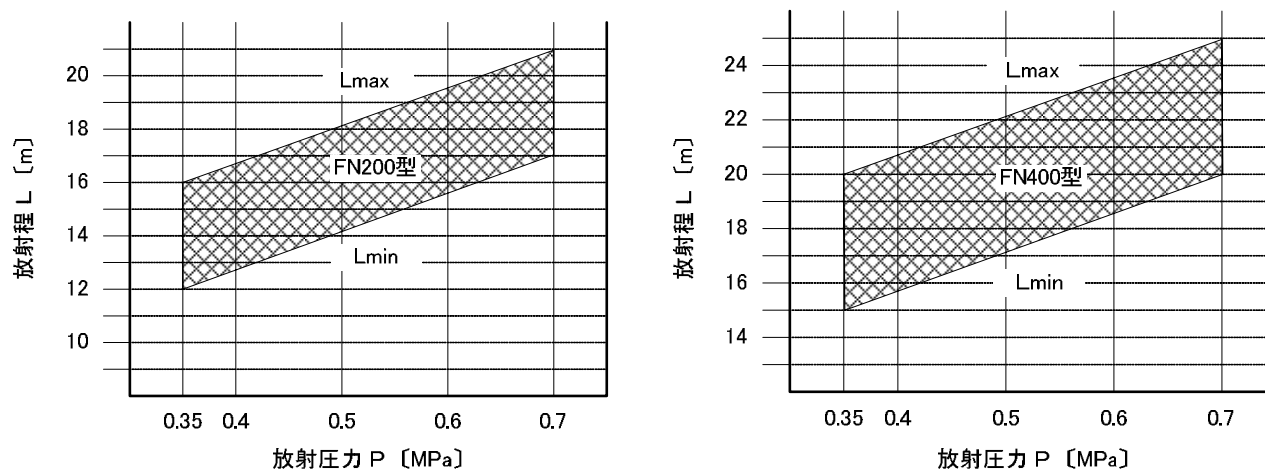


図4. FN200型およびFN400型ポータブル泡ノズル 泡射程図

●お問い合わせ先

FSG1106R1